



発行 郵政産業労働者ユニオン岡山支部
連絡先 岡山市北区中山下2-1-1
岡山中央郵便局 5階
郵送先 700-8799 私書箱222号

「ムダな超勤」って・・・失礼な！

4月12日17時40分頃、岡山中央集配職場で以下のような放送がありました。

「日勤者は17時45分が定時だ、ムダな超勤はしないように、退勤後の作業は絶対にしないように」

深刻な要員不足の中、現場社員は会社の無茶な要求に応えるべく必死に働いています。それを「ムダな超勤」と簡単に片付けるとは、失礼にも程があります！

そもそも「ムダな超勤」は、会社が管理者通じて管理し減らしていくものではないですか？超勤は「業務命令」として発令するものですから、ムダな超勤が発生しているという事は、会社・管理者が「無能・怠慢」と言っているようなものですよ？

超勤管理と言えば「3分の1エリアの定型外の大半を計配し16時半までに帰局せよ」等無茶な指示を出す部もあります。超勤管理をしようとしているかもしれませんが、更にタダ働きが増えたように見られます。再び新聞記事に載る出来事が起きてもおかしくないギリギリの状況で「ムダな超勤」発言。この会社の正体が垣間見えます。

春闘要求では「引き続き勤務時間管理を徹底していく」という回答が見られました。ちなみに放送した管理者は直後に帰宅。管理する気ゼロと言われても仕方ありませんよ？「引き続き」といった事実と異なる回答はいかがなものでしょうか？

過去には勤務時間を守っている社員が「配達が遅い」と評価を下げられた事例もあります。「募集しても集まらない」は、会社が引き起こしていると言っても過言ではないでしょう。募集したら集まる職場づくりを目指していただきたいものです。

労災の被害者に誠意ある対応を！

岡山郵便局において傷害事件とも言える労災事故が起きて半年が過ぎても未だに被害者の方は職場復帰できていません。2度も労災＝身体的被害に逢い、更にある月は給付金書類未提出が発覚！休業を余儀なくされている状況で労基署・会社・病院へ自ら電話対応せざるを得なくなり直後倒れて救急医療を受診する始末。それでも会社側の「まだ治らないのか」の雰囲気を感じられる対応、会社側の、給付遅れに対する病院への催促も誠意ある謝罪も無いのはどこか他人事なのでしょう。

1度目はパレットで被害者に向かって突進、2度目はパレットの扉を閉め被害者の頭部にケガをさせ笑いながら謝罪、それを擁護するかのような役職者の対応や「これは労災じゃないよね」「あれはわざとですよ」「工場内は離職率からパワハラがある事は会社として把握している」といった発言もこれまではあったようです。労災手続きは被害者の負担が増える方法に変え、更に労災にならないケガも経験しカメラ開示を要求しても「カメラが壊れている」と言われ加害者はお咎めなし。これでは加害者隠しと疑われても仕方ありませんし路上等で同様の事が起ければ労災では済まない筈です。一度人間の心というものは何かをよく考えていただきたいものです。加害者を擁護し被害者を、とは最近ワイドショー等でよく聞きますが・・・

職場のあれこれ、記事募集中！ ご意見等下記メルアドへ

〔連絡先〕 Eメール：postunion_okayama@yahoo.co.jp

支部メルアドQRコード

